

令和 4 年 6 月 10 日現在

機関番号：82674

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究期間：2019～2021

課題番号：19K22745

研究課題名（和文）生活支援サービス利用状況の経時的変化：時系列ビッグデータを用いた軌跡解析

研究課題名（英文）Temporal pattern of living support service utilization: trajectory analysis using time-series big data

研究代表者

村山 洋史（Murayama, Hiroshi）

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター（東京都健康長寿医療センター研究所）・東京都健康長寿医療センター研究所・研究副部長

研究者番号：00565137

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、民間企業が行う訪問型生活支援サービス利用状況の時系列ビッグデータを用い、生活支援サービスの類型化、類型化されたサービスの利用状況の経時的変化を明らかにした。介護保険認定の有無に関わらず「掃除・洗濯・庭掃除」のサービス利用頻度が多く、利用時間が長かった。介護度を認定されている高齢者においても「掃除・洗濯・庭掃除」を多く利用しており、介護保険によるサービスではカバーしきれない可能性が示唆された。また、独居高齢者は非独居高齢者と比較して、「掃除・洗濯・庭掃除」と「家財・建物管理」を除く生活支援をより多く、長い時間利用する傾向があった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

2015年に開始した介護予防・日常生活支援総合事業では、介護保険対象外の者へのサービス提供も含めた体制整備が求められている。しかし、利用状況に関する分析はまだ十分に行われていない。とはいえ、高齢者人口の増加に伴い逼迫する介護保険財政を鑑みると、介護保険制度外での生活支援サービスの提供体制構築に資するエビデンスの創出は、今後ますます求められる。本研究の知見を基に、政策レベルでは様々な生活支援サービスの提供体制が整備されていくこと、また、現場レベルでは個別のサービス利用計画を立てていく際の指針（エビデンス）として活用されることが期待される。

研究成果の概要（英文）：This study used time-series big data on the use of home-visit type daily living support services provided by private companies and identified types of daily living support services and changes over time in the use of services. Regardless of whether they were certified for long-term care insurance or not, the frequency of service use for "cleaning, laundry, and yard cleaning" was high and the duration of use was long. Even among the elderly who were certified for long-term care, "cleaning, laundry, and yard cleaning" services were used frequently, suggesting that the services provided by long-term care insurance may not cover all the needs. Compared to seniors who lived with others, seniors who lived alone tended to use services other than "cleaning, laundry, and yard cleaning" and "household goods and building management" more frequently and for a longer period of time.

研究分野：地域看護

キーワード：生活支援 サービス利用 高齢者 ビッグデータ

## 1. 研究開始当初の背景

2015年に介護予防・日常生活支援総合事業が全国で開始され、各自治体では急ピッチで持続可能な生活支援サービス提供体制構築に向けた整備が進められている。しかし、生活支援サービス利用状況の詳細な検討は未だ十分に行われていない。

## 2. 研究の目的

本研究は、訪問型生活支援サービス利用状況の時系列ビッグデータを用い、他領域で発展してきた時系列データ解析手法を取り入れることで、生活支援サービスがどのように類型化され、類型化されたサービスの利用状況は経時的にどのような軌跡を辿って変化し、その軌跡はどのような利用者特性の影響を受けるのか、を明らかにすることを目的とした。

## 3. 研究の方法

2016年2月から2019年10月にセコム暮らしのパートナー久我山の高齢者生活支援サービスと契約した高齢者51名を対象とした。対象者が、期間中に生活支援サービスを利用した履歴を匿名化した上で入手し、すべてコード化したデータセットを作成した。本研究は、東京大学ライフサイエンス研究倫理委員会の承認を得て行われた。

研究は、以下の2つの視点で行った。

### 1) プライベートサービスで補われている高齢者生活支援の需要

高齢者生活支援サービスを契約している高齢者が利用したサービス内容、利用頻度、利用時間を介護認定の有無によって層別化して記述する。また、サービス契約後のサービス利用頻度の時間的変遷について、サービス内容毎に記述する。

契約時点の高齢者の属性(性別、年齢、介護度、世帯構成、近居の有無、戸建て/マンション、配偶者の介護度、サービス利用の理由)を介護度の有無別に記述した。また、契約開始時点から1年間の各サービスの1か月あたりの利用回数と利用時間(分)の中央値(四分位)を介護度の有無別に記述した。契約開始日から契約終了日までの期間が1年に満たない場合は、サービス利用時間を契約日数で除して1か月あたりの利用時間を計算した。また、サービス契約後から2年間以上継続した者のみ(全対象の66%)を対象として、サービス契約後から2020年6月までの各サービスの毎月の利用頻度と利用時間の対数平均値を quadratic prediction plots した。

### 2) 独居の高齢者が利用している生活支援プライベートサービス

プライベートサービスと契約している高齢者が利用しているサービス内容、利用頻度、利用時間を独居か否かによって層別化して記述する。

契約時点の高齢者の属性(性別、年齢、介護度、疾患、世帯構成、近居の有無、戸建て/マンション、配偶者の介護度、サービス利用の理由)を独居か否かで分けて記述した。また、契約開始時点から1年間の各サービスの1か月あたりの利用回数と利用時間(分)の中央値(四分位)を独居か否かで層別化して記述した。契約開始日から契約終了日までの期間が1年に満たない場合は、サービス利用時間を契約日数で除して1か月あたりの利用時間を計算した。

## 4. 研究成果

### 1) プライベートサービスで補われている高齢者生活支援の需要

対象のうち、女性が約70%を占めた。契約開始後1年間に利用した頻度が高かったサービスは、「掃除・洗濯・庭掃除」であった(図1)。利用時間が長かったサービスは、「掃除・洗濯・庭掃除」と「家財・建物管理」であった(図2)。また、介護認定されている高齢者の方がそうでない者と比べて、「食事」と「移動」、「医療サービス受診」、「金銭管理」を支援するサービスを利用頻度が高く、「医療サービス受診」と「金銭管理」の利用時間が長かった。

契約開始後の各サービスの利用頻度と利用時間は、「移動」に関するサービス利用が減少傾向であった。その他のサービス利用は横ばいであった。(図3、図4)

介護認定の有無に関わらず「掃除・洗濯・庭掃除」のサービス利用頻度が多く、利用時間が長かった。プライベートサービスを利用している高齢者にとって「掃除・洗濯・庭掃除」に関する生活支援の需要が高いのかもしれない。介護度を認定されている高齢者においても「掃除・洗濯・庭掃除」を多く利用していることから、介護保険によるサービスではカバーしきれていないのだろう。

介護認定されている高齢者はそうでない高齢者と比較して、介護の必要度が高いため「食事」と「移動」、「医療サービス受診」、「金銭管理」の利用が多かったのは自然なことである。一方で、これらが公的介護サービスでは十分に支援できていないために、プライベートサービスに追加支援を依頼している可能性もある。

今後の介護保険制度における生活支援や介護予防において「掃除・洗濯・庭掃除」への支援を充実させることが、高齢者の需要を満たす可能性がある。また、要支援や要介護高齢者への居宅介護サービスにおいては、「食事」「移動」「医療サービス受診」「金銭管理」の充実が必要と考えられる。

## 2) 独居の高齢者が利用している生活支援プライベートサービス

対象のうち、独居者は28名だった。独居高齢者の方がそうでない者と比べて、「買い物」を支援するサービスの利用頻度が高く、「介護支援」と「その他」の利用時間が長かった。一方で、「掃除・洗濯・庭掃除」の利用時間は短かった。

独居高齢者は非独居高齢者と比較して、「掃除・洗濯・庭掃除」と「家財・建物管理」を除く生活支援をより多く、長い時間利用する傾向がある。「買い物」のような物理的な需要に加えて、「介護サービス受給支援」や「その他」のように日常生活の相談窓口としてプライベートサービスを使用していることもわかった。

独居高齢者が非独居高齢者と比較して「掃除・洗濯・庭掃除」と「家財・建物管理」の利用時間が短いのは、本プライベートサービスは一月あたりの利用時間制限が設けられているためと考えられる。自立や要支援の高齢者であっても、独居高齢者は非独居高齢者と比較して、より多くの生活支援を必要としているようだ。独居高齢者については、介護保険等で生活支援を受けられるように配慮していく必要が示唆された。

図 1. 契約開始後 1 年間に利用したサービスの利用頻度

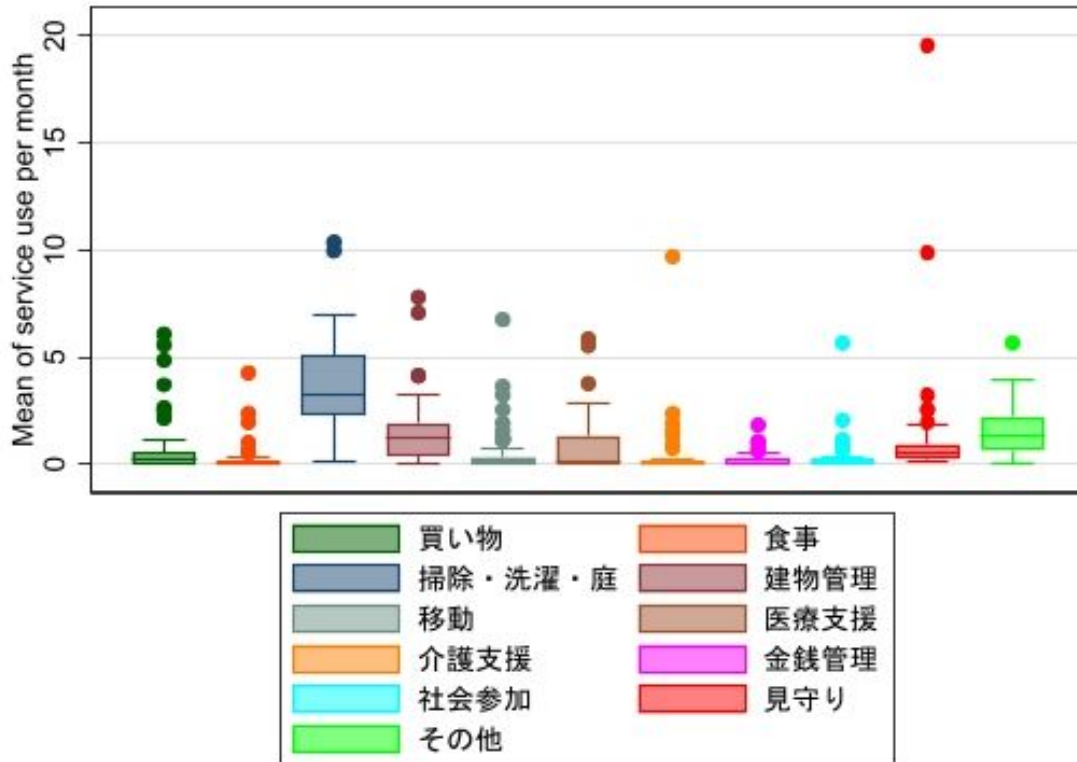


図 2. 契約開始後 1 年間に利用したサービスの利用時間

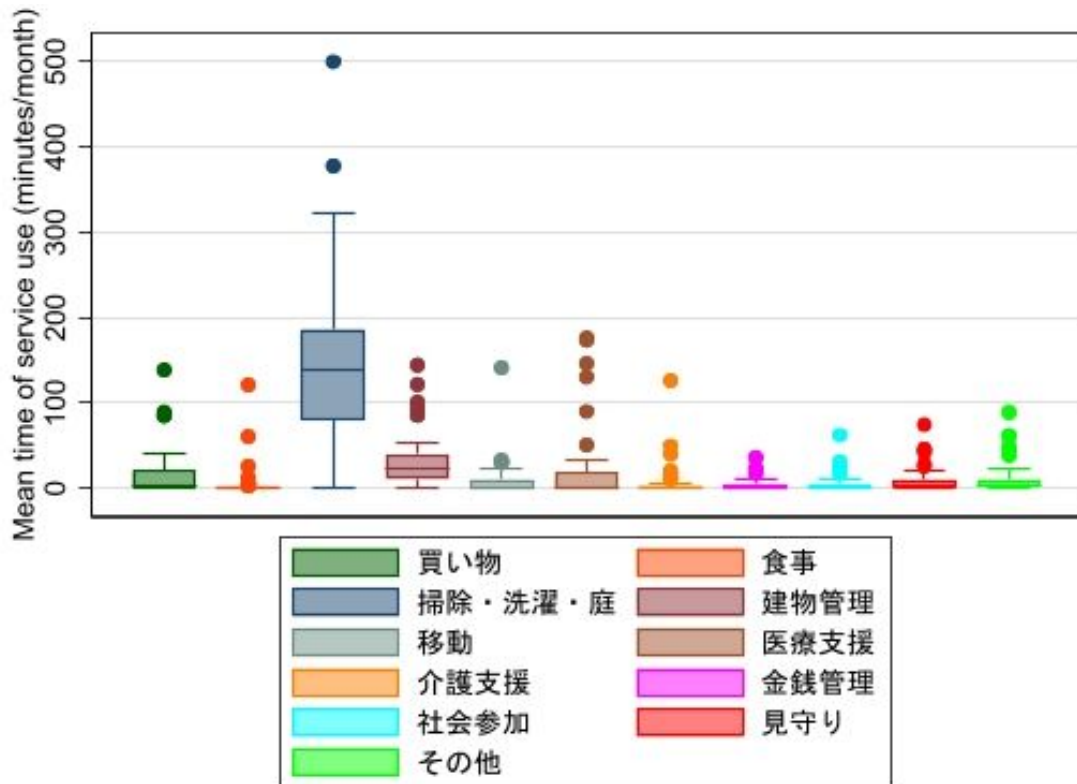


図3. 契約開始後2年間の各サービスの利用頻度の変遷

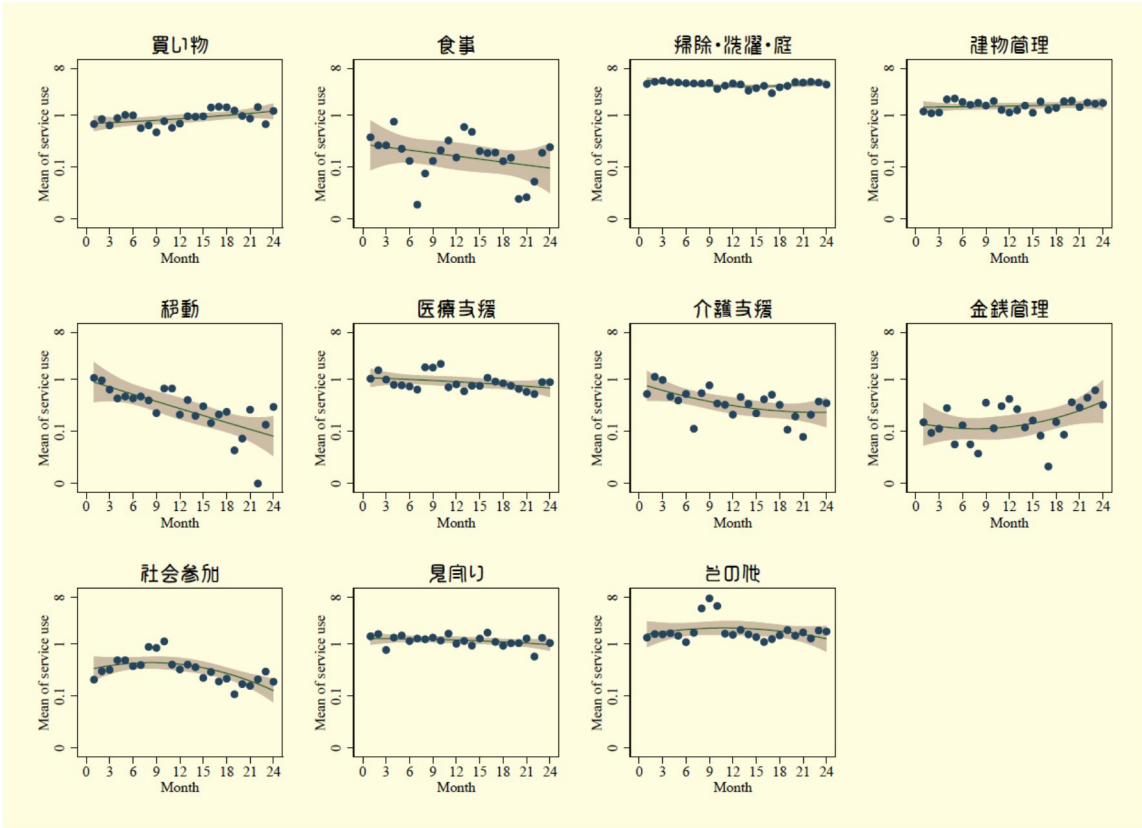
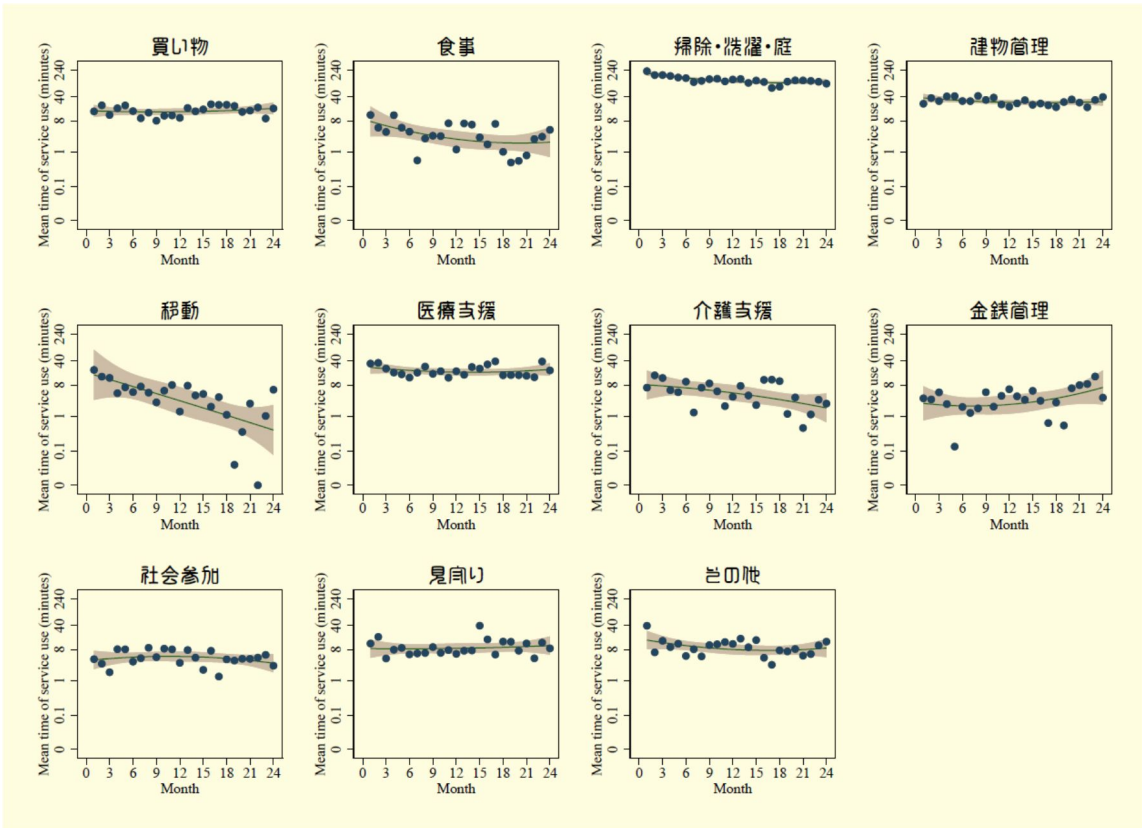


図4. 契約開始後2年間の各サービスの利用時間の変遷



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計39件（うち査読付論文 39件 / うち国際共著 8件 / うちオープンアクセス 23件）

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Nonaka Kumiko, Hasebe Masami, Fujiwara Yoshinori	4. 巻 62
2. 論文標題 Workplace and community social capital and burnout among professionals of health and welfare services for the seniors: A multilevel analysis in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Murayama Hiroshi, Liang Jersey, Shaw Benjamin A., Botosaneanu Anda, Kobayashi Erika, Fukaya Taro, Shinkai Shoji	4. 巻 21
2. 論文標題 Socioeconomic Differences in Trajectories of Functional Capacity Among Older Japanese: A 25-Year Longitudinal Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the American Medical Directors Association	6. 最初と最後の頁 734 ~ 739.e1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamda.2020.02.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Murayama Hiroshi, Taguchi Atsuko, Spencer Michael S., Yamaguchi Takuhiro	4. 巻 47
2. 論文標題 Efficacy of a Community Health Worker?Based Intervention in Improving Dietary Habits Among Community-Dwelling Older People: A Controlled, Crossover Trial in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Health Education & Behavior	6. 最初と最後の頁 47 ~ 56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1090198119891975	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Murayama Hiroshi, Inoue Shigeru, Fujiwara Takeo, Fukui Naoki, Yokoyama Yuichi, Shobugawa Yugo	4. 巻 17
2. 論文標題 Sekentei as a Socio-Cultural Determinant of Cognitive Function among Older Japanese People: Findings from the NEIGE Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 4480 ~ 4480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17124480	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Liang Jersey, Shaw Benjamin A., Botoseneanu Anda, Kobayashi Erika, Fukaya Taro, Shinkai Shoji	4. 巻 25
2. 論文標題 Age and gender differences in the association between body mass index and all-cause mortality among older Japanese	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ethnicity & Health	6. 最初と最後の頁 874 ~ 887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13557858.2018.1469737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Sugiyama Mika, Inagaki Hiroki, Edahiro Ayako, Okamura Tsuyoshi, Ura Chiaki, Miyamae Fumiko, Motokawa Keiko, Awata Shuichi	4. 巻 87
2. 論文標題 Childhood socioeconomic disadvantage as a determinant of late-life physical function in older Japanese people	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103894 ~ 103894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Kobayashi Erika, Okamoto Shohei, Fukaya Taro, Ishizaki Tatsuro, Liang Jersey, Shinkai Shoji	4. 巻 91
2. 論文標題 National prevalence of frailty in the older Japanese population: Findings from a nationally representative survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 104220 ~ 104220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104220	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Suthutvoravut U., Takahashi K., Murayama H., Tanaka T., Akishita M., Iijima Katsuya	4. 巻 24
2. 論文標題 Association Between Traditional Japanese Diet Washoku and Sarcopenia in Community-Dwelling Older Adults: Findings from the Kashiwa Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The journal of nutrition, health & aging	6. 最初と最後の頁 282 ~ 289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-020-1318-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shobugawa Yugo, Murayama Hiroshi, Fujiwara Takeo, Inoue Shigeru	4. 巻 30
2. 論文標題 Cohort Profile of the NEIGE Study in Tokamachi City, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 281 ~ 287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.je20190036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Tomoya, Nonaka Kumiko, Matsunaga Hiroko, Hasebe Masami, Murayama Hiroshi, Koike Takashi, Murayama Yoh, Kobayashi Erika, Fujiwara Yoshinori	4. 巻 86
2. 論文標題 Factors relating to social isolation in urban Japanese older people: A 2-year prospective cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103936 ~ 103936
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Carandang Rogie Royce, Shibamura Akira, Kiriya Junko, Vardeleon Karen Rose, Asis Edward, Murayama Hiroshi, Jimba Masamine	4. 巻 15
2. 論文標題 Effectiveness of peer counseling, social engagement, and combination interventions in improving depressive symptoms of community-dwelling Filipino senior citizens	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0230770
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0230770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Abe Takumi, Nofuji Yu, Seino Satoshi, Murayama Hiroshi, Yoshida Yuka, Tanigaki Tomomi, Yokoyama Yuri, Narita Miki, Nishi Mariko, Kitamura Akihiko, Shinkai Shoji	4. 巻 136
2. 論文標題 Healthy lifestyle behaviors and transitions in frailty status among independent community-dwelling older adults: The Yabu cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Maturitas	6. 最初と最後の頁 54 ~ 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.maturitas.2020.04.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nemoto Yuta, Takahashi Tomoya, Nonaka Kumiko, Hasebe Masami, Koike Takashi, Minami Ushio, Murayama Hiroshi, Matsunaga Hiroko, Kobayashi Erika, Fujiwara Yoshinori	4. 巻 20
2. 論文標題 Working for only financial reasons attenuates the health effects of working beyond retirement age: A 2 year longitudinal study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 745 ~ 751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13941	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Yoko, Murayama Hiroshi, Fukuda Yoshiharu	4. 巻 62
2. 論文標題 Association Between Overtime-Working Environment and Psychological Distress Among Japanese Workers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 641 ~ 646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/jom.0000000000001920	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Kyo, Murayama Hiroshi, Tanaka Tomoki, Takase Mai, Suthutvoravut Unyaporn, Iijima Katsuya	4. 巻 15
2. 論文標題 A qualitative study on the reasons for solitary eating habits of older adults living with family	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0234379
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0234379	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Amagasa Shiho, Inoue Shigeru, Murayama Hiroshi, Fujiwara Takeo, Kikuchi Hiroyuki, Fukushima Noritoshi, Machida Masaki, Chastin Sebastien, Owen Neville, Shobugawa Yugo	4. 巻 20
2. 論文標題 Changes in rural older adults' sedentary and physically-active behaviors between a non-snowfall and a snowfall season: compositional analysis from the NEIGE study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 1248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-020-09343-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagamine Yuiko, Fujiwara Takeo, Tani Yukako, Murayama Hiroshi, Tabuchi Takahiro, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro	4. 巻 30
2. 論文標題 Gender Difference in the Association Between Subjective Socioeconomic Mobility Across Life Course and Mortality at Older Ages: Results From the JAGES Longitudinal Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 497 ~ 502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.je20190083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Amagasa Shiho, Inoue Shigeru, Murayama Hiroshi, Fujiwara Takeo, Kikuchi Hiroyuki, Fukushima Noritoshi, Machida Masaki, Chastin Sebastien, Owen Neville, Shobugawa Yugo	4. 巻 30
2. 論文標題 Associations of Sedentary and Physically-Active Behaviors With Cognitive-Function Decline in Community-Dwelling Older Adults: Compositional Data Analysis From the NEIGE Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 503 ~ 508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.je20190141	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 横山 友里、新開 省二、清野 諭、光武 誠吾、西 真理子、村山 洋史、成田 美紀、石崎 達郎、野藤 悠、北村 明彦	4. 巻 67
2. 論文標題 フレイル改善のための複合プログラムが要介護・死亡リスクと介護費に及ぼす影響：傾向スコアマッチングを用いた準実験的研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 752 ~ 762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.67.10_752	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村山 幸子、倉岡 正高、野中 久美子、田中 元基、根本 裕太、安永 正史、小林 江里香、村山 洋史、藤原 佳典	4. 巻 67
2. 論文標題 児童・生徒のあいさつ行動と地域愛着および援助行動との関連	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 452 ~ 460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.67.7_452	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 海、田口 敦子、松永 篤志、竹田 香織、村山 洋史、大森 純子	4. 巻 67
2. 論文標題 「互助」の概念分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 334 ~ 343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.67.5_334	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 海、村山 洋史、田口 敦子、大森 純子	4. 巻 67
2. 論文標題 豪雪地帯農村部において生活支援の担い手となる意向を持つ高齢者の特性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 860 ~ 870
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.67.12_860	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 相良友哉, 大澤絵里, 村山洋史, 藤原佳典	4. 巻 9
2. 論文標題 市町村保健センターの多世代住民に向けた事業における連携体制の実態に関する検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本世代間交流学会誌	6. 最初と最後の頁 3-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Sugiyama Mika, Inagaki Hiroki, Ura Chiaki, Miyamae Fumiko, Edahiro Ayako, Motokawa Keiko, Okamura Tsuyoshi, Awata Shuichi	4. 巻 29
2. 論文標題 The Differential Effects of Age on the Association Between Childhood Socioeconomic Disadvantage and Subjective Symptoms of Dementia Among Older Japanese People	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 241 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Ura Chiaki, Miyamae Fumiko, Sakuma Naoko, Sugiyama Mika, Inagaki Hiroki, Okamura Tsuyoshi, Awata Shuichi	4. 巻 19
2. 論文標題 Ecological relationship between social capital and cognitive decline in Japan: A preliminary study for dementia friendly communities	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 950 ~ 955
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13736	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Amagasa Shiho, Inoue Shigeru, Fujiwara Takeo, Shobugawa Yugo	4. 巻 19
2. 論文標題 Sekentei and objectively-measured physical activity among older Japanese people: a cross-sectional analysis from the NEIGE study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 1331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-019-7702-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Miyamae Fumiko, Ura Chiaki, Sakuma Naoko, Sugiyama Mika, Inagaki Hiroki, Okamura Tsuyoshi, Awata Shuichi	4. 巻 19
2. 論文標題 Does community social capital buffer the relationship between educational disadvantage and cognitive impairment? A multilevel analysis in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 1442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-019-7803-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Yu, Kitamura Akihiko, Nofuji Yu, Ishizaki Tatsuro, Seino Satoshi, Yokoyama Yuri, Shinozaki Tomohiro, Murayama Hiroshi, Mitsutake Seigo, Amano Hidenori, Nishi Mariko, Matsuyama Yutaka, Fujiwara Yoshinori, Shinkai Shoji	4. 巻 74
2. 論文標題 Association of Trajectories of Higher-Level Functional Capacity with Mortality and Medical and Long-Term Care Costs Among Community-Dwelling Older Japanese	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journals of Gerontology: Series A	6. 最初と最後の頁 211 ~ 218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/gly024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Carandang Rogie Royce, Shibanuma Akira, Kiriya Junko, Asis Edward, Chavez Dominga Carolina, Meana Magdalena, Murayama Hiroshi, Jimba Masamine	4. 巻 82
2. 論文標題 Determinants of depressive symptoms in Filipino senior citizens of the community-based ENGAGE study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 186 ~ 191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.02.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Yoh, Murayama Hiroshi, Hasebe Masami, Yamaguchi Jun, Fujiwara Yoshinori	4. 巻 19
2. 論文標題 The impact of intergenerational programs on social capital in Japan: a randomized population-based cross-sectional study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-019-6480-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita Ayako, O' Caoimh R?n?n, Murayama Hiroshi, Molloy D., Inoue Shigeru, Shobugawa Yugo, Fujiwara Takeo	4. 巻 16
2. 論文標題 Validity of the Japanese Version of the Quick Mild Cognitive Impairment Screen	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 917 ~ 917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16060917	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takase Mai, Murayama Hiroshi, Hirukawa Sayaka, Sugimoto Minami, Ono Sachiko, Tanaka Tomoki, Kimata Mari	4. 巻 38
2. 論文標題 Which Aspects of Dining Style are Associated with Depressive Mood? A Study at an Assisted Living Facility in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Nutrition in Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 377 ~ 386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21551197.2019.1662356	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Carandang, Asis, Shibamura, Kiriya, Murayama, Jimba	4. 巻 16
2. 論文標題 Unmet Needs and Coping Mechanisms Among Community-Dwelling Senior Citizens in the Philippines: A Qualitative Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 3745 ~ 3745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16193745	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Carandang, Shibamura, Kiriya, Vardeleon, Marges, Asis, Murayama, Jimba	4. 巻 16
2. 論文標題 Leadership and Peer Counseling Program: Evaluation of Training and Its Impact on Filipino Senior Peer Counselors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 4108 ~ 4108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16214108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura Tsuyoshi, Sugiyama Mika, Inagaki Hiroki, Murayama Hiroshi, Ura Chiaki, Miyamae Fumiko, Edahiro Ayako, Motokawa Keiko, Awata Shuich	4. 巻 19
2. 論文標題 Anticipatory anxiety about future dementia related care needs: towards a dementia friendly community	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 539 ~ 546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12433	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村山 洋史、小宮山 恵美、平原 佐斗司、野中 久美子、飯島 勝矢、藤原 佳典	4. 巻 66
2. 論文標題 在宅医療推進のための多職種連携研修プログラム参加者におけるソーシャルキャピタル醸成効果：都市部 での検証	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 317 ~ 326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.66.6_317	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 野藤 悠、北村 明彦、新開 省二、清野 諭、村山 洋史、吉田 由佳、谷垣 知美、横山 友里、成田 美紀、西 真理子、中村 正和	4. 巻 66
2. 論文標題 兵庫県養父市におけるシルバー人材センターを機軸としたフレイル予防施策のプロセス評価およびアウトカム評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 560～573
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.66.9_560	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田口 敦子、備前 真結、松永 篤志、森下 絵梨、岩間 純子、小川 尚子、伊藤 海、村山 洋史	4. 巻 66
2. 論文標題 文献検討に基づく介護予防サポーター養成プログラムの作成と効果	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 582～592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.66.9_582	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田口 敦子、村山 洋史、竹田 香織、伊藤 海、藤内 修二	4. 巻 66
2. 論文標題 地域保健に関わる住民組織の特徴と課題：全国市町村への調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 712～722
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.66.11_712	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件(うち招待講演 0件/うち国際学会 1件)

1. 発表者名 村山洋史、駒沢行實、柿崎真沙子、福田吉治、田淵貴大
2. 発表標題 世界経済不況が喫煙状況および飲酒頻度に及ぼす影響：中高年者縦断調査データの解析
3. 学会等名 第30回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村山洋史
2. 発表標題 公衆衛生分野におけるナッジ活用の現状と可能性：政策への応用と産官学連携に向けて
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村山洋史
2. 発表標題 高齢期就労の効果：高齢者本人への健康影響と周囲への恩恵の好循環
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村山洋史, 高瀬麻以, 渡邊彩, 西中川まき, 藤原佳典
2. 発表標題 就労と死亡の関連：高齢者を対象としたシステマティックレビュー
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Murayama H, Liang J, Shaw BA, Botosaneanu A, Kobayashi E, Fukaya T, Shinkai S
2. 発表標題 Weight change and all-cause mortality in later life: Findings from the National Survey of the Japanese Elderly
3. 学会等名 The 2020 Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA) (国際学会)
4. 発表年 2020年



〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------